

大阪経済の情勢（2025 年 6 月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。百貨店・スーパー販売額は減少。家計消費支出(近畿;5月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・ASEAN向け・EU向け・アメリカ向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱含んでいる。大阪府(5月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(5月)は低下。全国の生産(6月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(5月)は低下。

先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要

	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
6月									
5月									

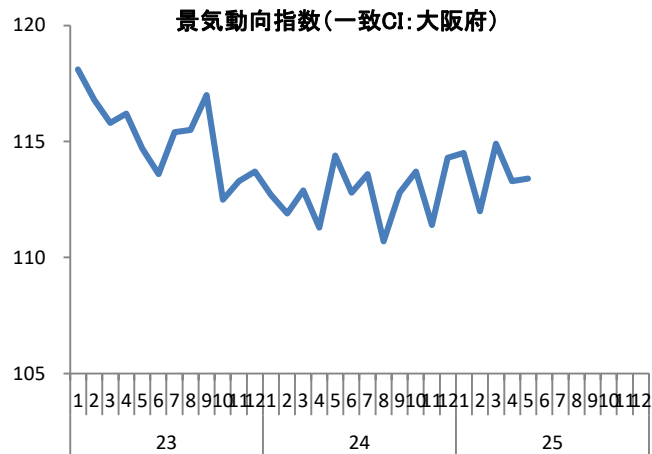
供給

	生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
6月					
5月					

*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

●景気動向指数(CI)

大阪府(5月)では、一致CIは上昇、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」が上昇に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年=100

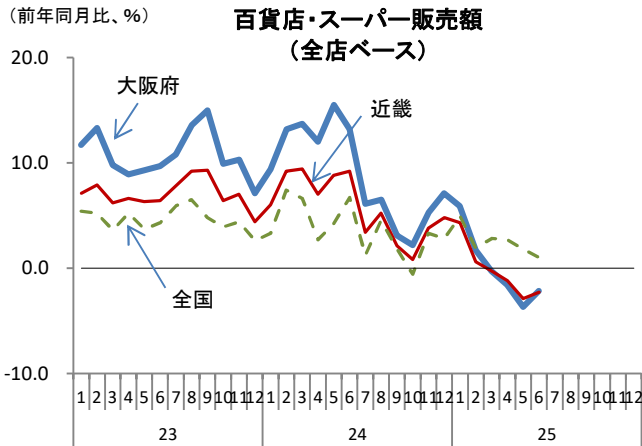
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、5月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
▲0.26	0.09	0.56	0.42	0.63	▲0.51	▲0.84

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。百貨店・スーパー販売額は減少。家計消費支出(近畿;5月)は増加。



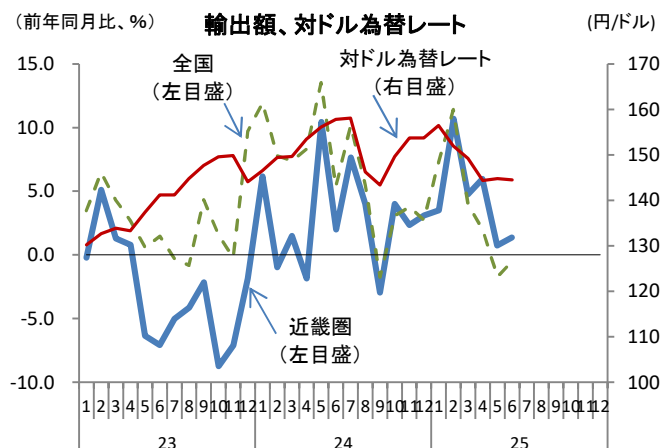
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、6月速報）

大型小売店 合計		▲2.2
うち	百貨店	▲6.1
	スーパー	2.7

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・ASEAN 向け・EU 向け・アメリカ向けで増加。輸入額は増加。



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

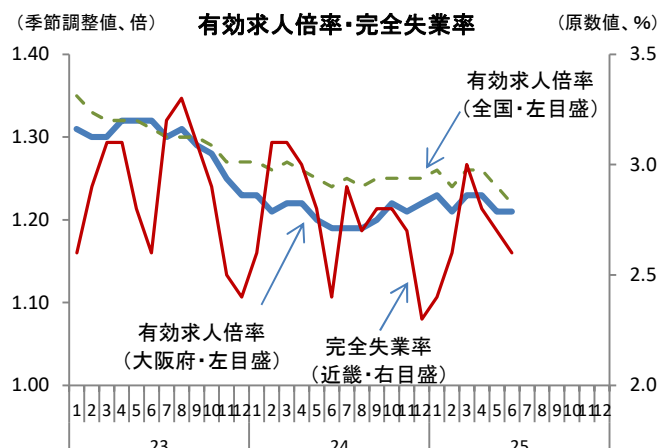
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%)、6月)

アジア(含む中国)	1.3	16ヶ月連続の増加
中国	▲2.9	2ヶ月連続の減少
ASEAN	6.7	12ヶ月連続の増加
EU	5.0	2ヶ月ぶりの増加
アメリカ	1.0	6ヶ月連続の増加

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(5月)は低下。



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

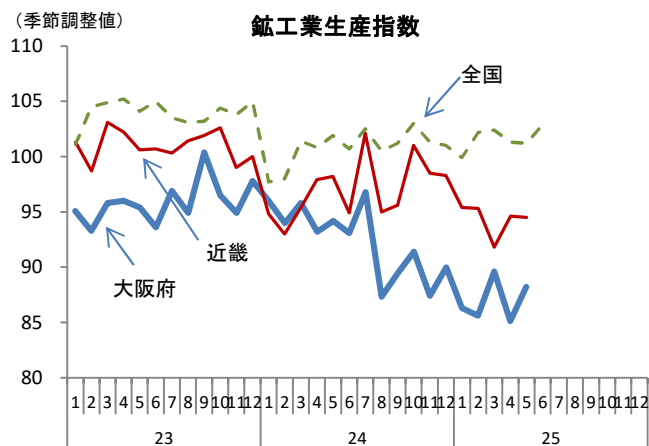
新規求人の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%)、6月)

産業計	1.9
建設業	▲7.5
製造業	4.5
卸売業、小売業	▲6.2
宿泊業、飲食サービス業	58.3
医療、福祉	▲3.8

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱含んでいる。大阪府(5月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(5月)は低下。全国の生産(6月)は上昇。



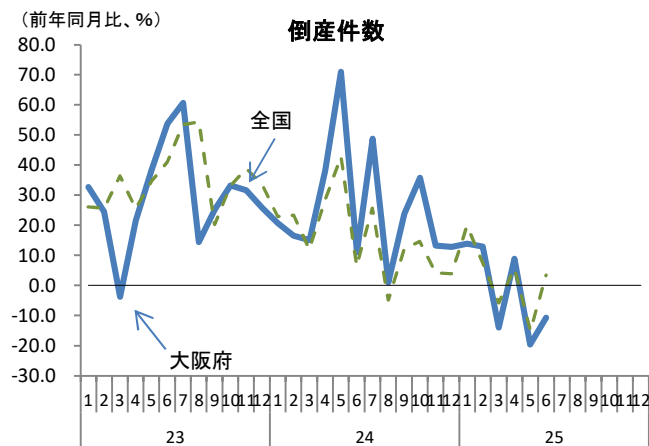
(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%)、寄与度順、5月速報)

上昇	輸送機械工業 (50.9) : 鉄道車両部品、シャシー・車体部品 生産用機械工業 (15.7) : ショベル系掘削機械、超硬工具
低下	石油・石炭製品工業 (▲14.5) : 軽油、ナフサ 化学工業 (▲6.0) : 医薬品、合成洗剤

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、6月)

業種	負債額(百万円)
カラーワイヤー製造	892
照明器具製造販売	846
解体工事ほか	410